

## 平成23年度の取り組み

### 1. 健全経営に向けての取り組み

大項目	改革プラン上で実施するとされていること	23年度に実施する予定のこと	目標
参加意識の醸成	病院の情報化や地域医療支援病院の承認取得、DPCの導入など、病院全体として取り組まなければならない案件について、職員一人ひとりが主体的に参加できるような参加意識を醸成	各部署が目標を設定し、発表会を実施。精励した部署を表彰。	努力した部署が評価される環境となっている
収益の向上	新規施設基準の取得	一般病棟入院基本料(7対1)の取得	7月から算定開始となっている
	診療報酬請求の見直し	レセプト点検の強化	毎月項目を設定して実施している
		服薬指導の積極的な実施	月1000件実施している
		広告の活用	広告を採用し、費用の削減が収入を得る。
費用の削減	診療材料費の適正化	診療材料の価格交渉を実施。	医業収益に占める割合が25.6%以下 ※ 22年度決算(見込)における割合  採用医薬品1,493品目(22年10月現在)を1,418品目以下に削減する。  ジェネリック薬採用比率を7%以上にする。 (採用医薬品1,418品目中99品目以上)
		医師を含めた価格交渉を実施	
		薬品費の価格交渉を実施。	
	採用医薬品の見直し		
	後発医薬品(ジェネリック)の導入促進		
委託費の適正化	仕様内容の見直しの検討	医業収益に占める割合が12.3%以下を維持する	
DPCの早期導入	23年度から導入	DPCへの速やかな移行	適切なコーディングをする。

### 2. 診療体制の強化

項目	改革プラン上で実施するとされていること	23年度に実施する予定のこと	目標	
医師の確保	大学や関係機関との連携を強化するとともに、求人誌やホームページなどを活用し医師を確保	大学や関係機関との連携強化	訪問やPR活動をする。	
		医師事務作業補助者の作業範囲の明確化	作業範囲を明確化する。	
		ホームページへの最新情報掲示	情報を随時更新する	
看護師の確保	就職情報誌への広告掲載、合同就職説明会への積極的な参加、市立看護専門学校をはじめとする看護専門学校等への積極的なアプローチを図る。 診療機能に鑑み、看護師配置基準7対1の導入を検討する。	看護師配置基準7対1への移行	7対1などに必要な看護師数を確保し、7月までに看護師配置基準7対1を取得する。	
		看護師採用試験の随時実施		
		就職フェア等への積極的な参加	三交替制・二交替制を併用する。	
		看護学校等へのPR活動の強化		
	三交代制・二交代制の併用			
	院内保育所の充実	院内保育所の定員増に向けた検討体制の整備する。		
	専門分野における看護師の育成	がん化学療法または緩和ケアの認定看護師が1名以上いる。 看護師が退院調整に関する研修に派遣し、急性期病棟等退院調整加算1を取得する。		
救急医療の充実	救急病床の確保	救命救急センターの医師の確保	救命救急センターの医師を増員する。(兼務を含む)	
		救急病床数確保のためのSCUの設置	脳卒中ケアユニット入院医療管理料を取得する。	
高度医療の充実	高度医療の充実	歯科口腔外科の開設	歯科口腔外科を開設する。	
		急性期リハビリテーションの充実	PT1名と非常勤OTを2名確保し、脳血管疾患リハIを取得する。心大血管リハの手術前評価・訓練を実施する。	
		地域がん診療連携拠点病院としての機能の充実	緩和ケア認定看護師を確保し、緩和ケア診療加算を取得する。	
		乳がんセンチネルリンパ節生検におけるアイソトープ併用	月10件(年120件)以上実施する。	
		内視鏡的大腸粘膜下層剥離術の実施	年10件以上実施する。(7月～)	
		服薬指導の充実	月1000件以上実施する。	
		栄養指導の充実	入院栄養指導500件以上 外来栄養指導500件以上 集団栄養指導150件以上 実施	
		高度医療機器等の整備	医療機器の活用状況を把握し、計画的な更新を実施する	臨床検査科、放射線技術科、薬剤部の台帳を整備する。
			B館エレベーター更新工事の実施	工事完了
			熱源機等改修工事	24年度中に工事完了
			空調機改修工事	工事完了
			B館防水工事	工事完了
			焼却炉撤去工事	工事完了
			検体検査システム(細菌システム含む)	導入
輸血管理システム	導入			
病理検査システム	導入			
X線撮影システム	導入			
X線テレビ透視装置	導入			
	B館防水工事及び空調機改修工事による二酸化炭素の削減	一定の二酸化炭素が削減されている。		

## 平成23年度の取り組み

### 3. サービスの充実と市民への情報発信

項目	改革プラン上で実施するとされていること	22年度に実施する予定のこと	目標
医療サービスの充実	患者サービスの向上	バス停の敷地内への移設	バス停を敷地内に移設する。
		院長への手紙に対する回答を院内に掲示	掲示している回答を定期的に更新する。
		院内コンサートの実施(年6回)	年6回実施する。
		売店の営業時間の見直し	売店の営業時間が拡大している
		患者さんの声をサービス向上につなげる	患者サービス向上委員会で検討された改善策がサービス向上に結び付いている。
	市民への情報提供	医療センターNewsの発行(年4回各2,500部)	年4回発行する
		ホームページへの最新情報掲示(再掲)	情報を随時更新する
		公開医療講座の開催(年4回)	年4回開催する
	ボランティア制度の活用	案内業務以外の業務へのボランティアの拡大	ボランティアの業務を拡大する。

### 4. 教育・研修等の充実

項目	改革プラン上で実施するとされていること	22年度に実施する予定のこと	目標
研修・研究体制の整備	スキルアップが図れる環境づくりに努める	治験の実施	治験を実施する
		学会・研修会への積極的な参加	全職種が参加する

### 5. 地域医療における連携強化

項目	改革プラン上で実施するとされていること	22年度に実施する予定のこと	目標
地域の医療機関との連携強化	紹介率・逆紹介率の向上を目指し、院内の体制を整えとともに、地域の医療機関との連携・協力関係を構築する。	地域の医療機関との連携を強化	連携医を142医療機関以上にする。 22年度に訪問していない連携医療機関を訪問する。 連携プレスを毎月発行する。
		地域連携共用パスの活用	一部のパスを活用する。